



トピックス

令和3(2021)年度患者満足度調査の結果について

当センターでは、9～11月にかけて、サービスの向上、職員の意識改善につなげるために、患者さんや家族の皆さんにアンケートを実施しましたので、その結果の概要※を報告します。

※回答数が10件以上の項目が対象となっています。

1 外来部門(回答数:113名 調査期間:9/1～14)

満足度の高かった項目		満足 やや満足 の割合(%)
1	医師の言葉づかい	93.7
2	薬剤師の対応	92.3
3	院内の清掃	90.2
4	リハビリの満足度	90.0
4	療法士の言葉づかい	90.0

満足度のあまり高くなかった項目		満足 やや満足 の割合(%)
1	診療までの待ち時間	52.7
2	看護技術	73.5
3	院内温度調整	78.6
4	看護師の適切な言葉かけ	81.2
5	プライバシーの保護	81.5

- ・質問19項目のうち15項目について8割以上の方から「満足・やや満足」との回答がありました。
- ・満足度があまり高くなかった「診療までの待ち時間」などについては、さらなる改善に努めてまいります。

2 入院部門(回答数:80名 調査期間:9/1～11/30)

満足度の高かった項目		満足 やや満足 の割合(%)
1	自身のリハビリ意欲	93.6
2	療法士の言葉づかい	92.4
3	リハビリの満足度	89.9
4	院内の清掃	88.5
5	リハビリ技術	87.4

満足度のあまり高くなかった項目		満足 やや満足 の割合(%)
1	食事の味	56.4
2	食事のメニュー	59.8
3	診察の満足度	63.9
4	デイルームの雰囲気	66.3
5	入院生活への説明について	67.2

- ・質問30項目のうち18項目について8割以上の方から「満足・やや満足」との回答がありました。
- ・満足度があまり高くなかった「食事」「診察の満足度」などについては、さらなる改善に努めてまいります。
- ・自由意見でいただきましたセンター内環境整備、スタッフの対応に対するご意見・ご要望については、今後のサービスおよび運営改善の参考にさせていただきます。

トピックス

とちぎワクチン接種センターについて

新型コロナウイルス感染症が発見され早二年になりました。2021年初頭には感染対策の大きな柱となるワクチン接種が世界各地で始まり、栃木県ではとちぎ健康の森に県営ワクチン接種会場が設置されました。6月下旬から11月末までの期間、当センターも人材派遣という形で接種事業に協力をしました。コロナ禍という状況の中、ほとんどの人が体験したことのない規模の集団接種事業に不安もありましたが、数多くの人たちの協力により接種が円滑にすすみ無事に事業に区切りがつかしました。

一時落ち着くかと思われた感染でしたが、昨年末から感染が拡大し、1月から3回目の接種を前倒しで行っています。先は見えませんが、新型コロナウイルス感染症対策の重要な役割としてワクチン集団接種事業に今後も協力していきます。

トピックス

駒生園 生活訓練（ガーデニング）

障害者自立訓練センター「駒生園」では、生活訓練の一環として、毎週水曜日の午前中にガーデニングを行っています。

ボランティアの指導を受け、主に季節の野菜を土作りから始まり、種まき、除草、水やりとすべての作業を行い、収穫まで丹精込めて育てています。

今年度は感染対策を行った上で、こども療育センターの子供たちと一緒に夏は「とうもろこし」、冬は「里芋」と「大根」を収穫しました。

コロナ禍での行動制限が厳しい中、利用者の方々もストレスがかかってきている状況で、子供たちのはしゃぐ声や笑顔に癒やされた一時でした。



大根収穫の様子

季節行事

☆クリスマス会を開催しました☆

こども発達支援センターではクリスマス会を行いました。感染予防の為、クラスごとの開催としましたが、劇や合奏など盛りだくさんの出し物で、子ども達は楽しく参加してくれました。

まずは職員の劇からスタートです。どうぶつ村のゆかいな仲間たちが、奇妙なダンスを披露し、子ども達は興味津々！保護者の方々も手拍子で盛り上げてくれました。

パネルシアターや合奏を楽しんだら、いよいよサンタさんの登場です！

トナカイさんがソリを引いて、遠い国からサンタさんを連れて来てくれました。サンタさんとの記念撮影に少し緊張したお友達もいましたが、プレゼントはしっかり受け取り、ケーキもたくさん食べてクリスマスを楽しみました。

自分の背丈より大きなクリスマスプレゼントを大事そうに抱え、嬉しそうな表情で帰っていった子ども達。とてもステキなクリスマス会だったとの声をいただきました。



どうぶつ村のぼんぼこバス



サンタさんからのクリスマスプレゼント





医療センター外来 小児リハについて

当センターでは外来リハビリ処方の方の8割が18歳未満の患者さんになっており、小児が大きな割合を占めています。現在、理学療法士3名・作業療法士2名・言語聴覚士1名で外来リハビリテーションを担当しています。

リハビリテーションの実施においては、保育園や幼稚園、学校等と連携し、園での遊びの関わりや学校での自立活動の取り組み、食事やトイレ等日常生活動作の介助法など出来るだけ具体的にお伝えするよう心がけています。また、園や学校の先生などに直接来ていただいたり、電話やリモートでの情報交換なども行っています。



外来リハビリスタッフ

これからも、情報を共有しながら、子どもたち一人一人がそれぞれに歩む成長に寄り添い、より良い支援が出来るよう努めます。

編集後記

令和3年度最後の発行になりました。

利用者の皆さまが当センターで安心して過ごせるよう、日々努力していきますので、よろしくお願いいたします。



(発行) 地方独立行政法人
栃木県立リハビリテーションセンター
管理部総務課

〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1
TEL 028-623-6101 (代表)
FAX 028-623-6151
ホームページ <https://tochigi-riha.jp/>

